

東丹沢方面の自然公園情報

日付：令和6年9月28日（土）

コース：仏果山登山口バス停-宮ヶ瀬越-仏果山

天気：曇り

気温：22℃（16時頃、宮ヶ瀬越）

●幾度かの大雨の後です。登りはじめすぐのところに崩落箇所がありました。迂回して進めませんが、十分な注意が必要です。（令和6年9月10日現在の登山道通行状況です。通行の際は最新の情報をご確認ください。）



●土壌が流れた斜面に埋もれていた石組が露出していました。いつ頃、何のために作られたのでしょうか。林業用のものでしょうか。



●植生保護柵の中での植生回復が顕著になっていました。回復にずいぶん時間を必要とした場所です。今後の変化も見守っていきたいと感じました。



令和2年10月



現在

●昭和の味わいある看板の説明通り、登山道沿いにモミの大木が見られました。自然林が豊かな仏果山はこれからの季節、紅葉も楽しみです。



●シロオニタケの仲間が生えていました。傘が開く前の幼菌はゴルフボールのようで愛嬌があるものの、テングタケ科で毒キノコです。



●気温が高すぎず湿度のある日だったので、予想通りヤマビルがいました。足元は忌避剤で完全防備だったのですが、気づくと手指の間でまるまる太っていました。まだまだ用心しなければなりません。



●仏果山山頂の展望台から宮ヶ瀬湖と周辺の山々を見渡しました。そろそろ紅葉がはじまっているように見えました。



●帰りの道でほんの横を登っていくニホンザルの群れに出くわしました。最初のオスと目が合いましたが、お互い黙々とすれ違った感じです。まるで登りの登山者と行き会った時のようでした。あまりに自然で、撮影を思いついたのはずいぶん離れてしまってからです。

